

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

書名 項目	新編新しい社会 公民 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○社会に対する関心を高め、社会の在り様や課題を正しく理解するように、平易な記述の本文や様々な資料により基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるようにしている。 ○身近な話題や現代の社会事象について、資料を読み取る視点を適切に示すほか、見開きごとに短時間で取り組める言語活動を設けるなど、多面的多角的な思考力・判断力・表現力等を身に付けさせようとしている。 ○社会科学学習のまとめとして、終章『よりよい社会を目指して』において地理や歴史の学習成果も生かして「社会の課題」を見つけ出し、「解決のための取り組み」として資料収集や考えを自分なりにまとめ、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようにしている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○学習内容が見開き2ページで構成され、はじめに「学習課題」、終わりにまとめの「確認」を設け、学習内容を確実に理解するようにしている。 ○章の終わりに「この章の学習を確認しよう」により、重要語句の確認やワーク問題があり、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○第2章「やってみよう」の導入にある「ちがいのちがいを追究しよう」と終末にある「ちがいのちがいを追究しよう」は、導入と終末の言語活動に連続性を持たせて表現力の育成を図ろうとしている。いくつかの章でこの学習を繰り返すことで、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションなど多様な言語活動の仕方を身に付けるように工夫している。 ○見開き右下に提示されている「確認」には、キーワードを使って説明する、共通点や相違点に着目して説明する、空欄に語句を補充して説明する、という3つのパターンを用意している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○本文の学習内容を補完する「公民にアクセス」を設け、関連する知識を習得できるようにしている。また生徒にとって興味・関心を喚起する「ティーブレイク」を適宜設け、主体的に学習に取り組むように工夫している。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫> ○「公民にチャレンジ」「効率と公正」の体験活動や歴史学習を振り返る写真や年表の資料から、民主主義に対する理解を深めるようにしている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫> ○「やってみよう」を学習した内容と関連付けながら活用することで、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫をしている。</p>
資料	○巻頭では「持続可能な社会を目指して」、巻末では「私たちにできる社会参画」を掲載し、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識させるようにしている。 ○統計・資料や日本国憲法をはじめ、関連する法令集、解説・さくいんで用語解説が掲載されている。
表記・表現	○本文は敬体で、重要語句は太字である。本文中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようにしている。 ○本文の補足資料について白抜き数字を示し、関連資料と関連づけている。
総括	紙面はA B版である。学習課題に対して、キーワードを使って説明する、共通点や相違点に着目して説明する、空欄に語句を補充して説明するなど多様な振り返りをするように工夫している。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、各章の導入に「小学校では○○を学習しましたね」と吹き出しで振り返らせている。小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育について見開きで「模擬裁判をやってみよう」を設け、グループで考えさせるようにしている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名 中学社会 公民 ともに生きる (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○現代社会のしくみや課題をについて、現代社会の諸問題をとおして読み解くことができ るようにしている。本文、資料、コラムなどの読み物によって民主主義のしくみにつ いて考えを深めるようにしている。 ○生徒が現代や過去の社会的事象について、多様な資料を活用し多面的多角的に考察で きるようにしている。 ○社会科学習のまとめとして、終章の「持続可能な未来」における「未来への私の約束」 でレポートを作成することで主権国家の相互協力について考え、よりよい社会の形成 に主体的に参加する態度を培おうとしている。
特 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○学習内容を2ページで構成されており、「学習課題」に対応した学習のまとめ「ふりか える」のステップ1で学習内容の定着を図るようにしている。 ○章の終末には「学習のまとめと表現」があり、重要語句の確認やワーク問題、語句につ いて文章化し説明させるなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされて いる。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「ふりかえる」のステップ2で、説明や話し合いなどの言語活動を充実し、思考力等を 高めようとしている。 ○「言葉で伝えよう」の中で、ディベートやプレゼンテーション、ポスターセッションな ど多様な表現活動を示している。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○コラム「公民の窓」「クリップ」を設け、学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内 容の理解を深め、主体的に学習に取り組むように工夫している。 <民主主義に対する理解を深めさせる工夫> ○本文を中心に豊富な資料を活用して、さまざまな取組を通して生徒が民主主義に対す る理解を深めるようにされている。 <国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫> ○「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」を学習した内容と関連付けながら主体的 に活用することで、生徒に国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫が されている。
色 資 料	○巻頭では、「動き続ける世界」「ともに生きる社会を目指して」が掲載され、世界で起き ている事象と課題に触れさせることで生徒の公民への関心を寄せるようになってい る。巻末では「未来へ歩み続ける人々」が掲載されている。また日本国憲法をはじめ、関連 する法令集、用語解説と索引が掲載されている。 ○教科書全体を通して多様な資料が用意され、視覚的にも生徒の興味・関心を高めるよ うに工夫している。
表 記 ・ 表 現	○本文は常体で、文章表現も容易である。重要語句は太字である。本文中にp. ○○と示 し、関連事項が分かるようにしている。 ○相互に関連するページが示されている。また脚注で本文を補足する解説や、難しい語句 の説明をするように工夫している。
総 括	紙面はA B版である。巻頭で公民の学習方法として、「公民のノート」づくりを 示している。また、学習内容を象徴する主題と副題におき、学習課題を明確に示 して、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる構成としている。本採択区の各 市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点 から見ると、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育について見開きで「も し私が裁判員裁判に参加したら」を設け、自分の考えをまとめさせようとしてい る。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名
	中学 公民 日本の社会と世界 (清水書院)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○各章の導入として「人物をクローズアップした扉」を設け、生徒が興味・関心をもって学習に取り組み、現代社会の課題等について考えさせるような構成としている。</p> <p>○社会的な事象や現代社会の課題について、作業学習や調べ学習などをとおして多面的・多角的に考えを深め、思考力・判断力・表現力等を身に付けるようにしている。</p> <p>○社会科学習のまとめとして、終章の「もっと知りたい公民」で「卒業論文をかいてみよう」で、生徒自らの「テーマ(課題)設定」「情報収集」「取材」「調査結果のまとめ(論文作成)」「発表」の手順を示し、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようにしている。</p>
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○学習内容を2ページごとに構成されており、学習目標を示し、本文とともに資料の読み取りや側注の補助説明によって、社会的事象の理解を深め、学習内容が定着できるように工夫している。</p> <p>○章の終わりにまとめがあり、重要語句の確認やワーク問題があり、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○現代社会における問題、特に人権・平和・地球環境問題について丁寧な記述とし、生徒が考えを深めていくようにしている。</p> <p>○生徒が考えを深めたり調べたりする視点となる問いかけを「調査」マークで示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○特設ページ「もっと知りたい公民」を設け、学習内容に関連するテーマや図版や写真を解説し、生徒が興味・関心を広げ主体的に学習に取り組むように工夫している。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○歴史学習を振り返る写真や国内・海外の写真から読み取り、民主主義に対する理解を深めるようにしている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○特設ページ「深める公民」を学習した内容と関連付けながら活用することで、生徒に国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫がされている。</p>
色 資 料	<p>○巻頭では、「現代の世界」「世界の中学生」が掲載され、世界の異なる文化・制度に触れさせることで関心を寄せるようにしている。巻末では「日本の無形文化遺産」「現代社会のうごき(年表)」が掲載されている。また日本国憲法をはじめ、関連する法令集、さくいんが掲載されている。</p> <p>○学習内容にふさわしい資料も用意している。</p>
表記・表現	<p>○本文は常体で、重要語句は太字である。本文中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようになっている。</p> <p>○相互に関連するページが示されている。また脚中で用語を補足して説明し理解を深める</p>
総 括	<p>紙面はB版である。学習課題に対して、本文と資料を通して比較や読み取りを通して基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。学習を深めるために、教科書の基本構成、各章の終末に「この章の学習を確認しよう」「やってみよう」があり、言語活動を多く取り入れた構成となっている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育についてコラム「裁判員制度について考える」を設けている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名	
	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして (帝国書院)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○学習内容と結びつく、身近な事例や現実の社会の動きから学べるようにしている。</p> <p>○中学生が現在、そして将来直面することが予想される課題や解決に向けての様々な取組をまとめており、多面的・多角的な思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるようにしている。</p> <p>○社会科学習のまとめとして、終章「持続可能な社会をめざし」においてレポート作成の手順を丁寧に図示・説明し、「社会の課題」を見つけ出し、「解決のための取り組み」として資料収集や考えを自分なりにまとめ、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようにしている。</p>	
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開き2ページの学習課題に対して、「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習した基礎的・基本的な内容の理解を確認できるように工夫している。</p> <p>○章末には「学習をふりかえろう」を設け、ワーク問題等があり、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「確認しよう」「説明しよう」は多面的・多角的な視点で自分の考えをまとめたり、表現したりする活動を促し、思考力、判断力、表現力等を育成するようにしている。</p> <p>○経済の学習において連続コラム「パン屋の経営者」を設け、単元をとおして疑似体験をしながら学習を進め、思考力等を身に付けるように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○これから学ぶ内容に関する実社会の事例を紹介する「クローズアップ」、未来の社会をつくるために参考になる取り組みを紹介したコラム「羅針盤マーク」を設け、生徒の興味・関心を喚起し、主体的に学習に取り組むように工夫している。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○本文を中心に豊富な資料を活用して、さまざまな取組を通して生徒が民主主義に対する理解を深めるようにされている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「トライアル公民」「未来に向けて」で学習した内容と関連付けながら主体的に活用することで、生徒に国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫がされている。</p>
	資 料	<p>○巻頭では、「世界で活躍する日本人」「私たちと公民分野の学習～年齢に応じてできること～」が掲載され、生徒の興味・関心を高めようとしている。巻末では「もっと広い世界へー夢を追い続けてー」が掲載されている。また日本国憲法をはじめ、関連する法令集、索引が掲載されている。</p> <p>○教科書全体と通して資料が豊富であり、視覚的にも生徒の興味・関心を寄せるものとなっている。また比較や読み取る力を養うためのグラフが多数ある。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○本文は敬体で、重要語句は太字である。本文中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようにしている。</p> <p>○相互に関連するページが示されている。また脚注で本文を補足する解説や、難しい語句の説明をするよう工夫されている。</p>
総 括	<p>紙面はB版である。興味・関心を高める「クローズアップ」、「羅針盤マーク」で示された学習内容を深めるコラム、「技能を磨みがく」「地理・歴史をふりかえる」等、様々な資料や項目を織り込ませながら、学習課題に迫るようにしている。中でも、経済学習の「連続コラム」は工夫が見られる。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育について見開きで「裁判の判決を考えよう」を設けて、自分なりに考えさせようとしている。</p>	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名
	中学社会 公民的分野 (日本文教出版)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	<p>○現代の諸課題について、身近な生活をとおして学習課題を捉え、基礎的・基本的な知識・技能の習得をさせようとしている。</p> <p>○考えたことを自分の言葉で表現する作業学習ができるようにしており、多面的・多角的な思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。</p> <p>○社会科学習のまとめとして、第5編『私たちの課題 ー持続可能な社会をめざしてー』において地理や歴史の学習成果も生かして自分なりの考えで現代社会の課題に迫るため、資料収集や考えをまとめていく取組をとおして、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようにしている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○学習課題に対して、見開き右下「学習の確認と活用」により理解を確かにする活動や、その知識を使って現実の問題に取り組む問いなどが示されている。</p> <p>○「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや活用に必要な知識・技能を示している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○毎時間の終末に学習課題の確認と活用ができるように「言語活動コーナー」を設けるとともに、「アクティビティ」など適宜設け、思考力、判断力、表現力等を育成する学習を促している。</p> <p>○各章末に「チャレンジ公民」のページを設け、各章の学習内容に関する事例問題の学習をとおして、思考力、判断力、表現力等を育成するに工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○コラム「公民プラスα」を設け、見開きページの学習内容に関する事項を掘り下げ、理解を深めることにより、主体的に学習に取り組むように工夫している。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「公民タイムトラベル」を設け、現代と歴史との接点から現代社会や民主主義に対する理解を深めるように工夫している。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○各編の冒頭に、その基本的な考えとなる「ナビ」を設け、学習内容を広い視野から捉えるとともに、「明日に向かって」を適宜設け、社会に参画するための手がかりを示している。</p>
色	<p>○巻頭「公民との出会い 夜の地球」「日本の現代史年表」「現代の世界のようす」、巻末「さまざまなかたちがある 私たちと社会のつながり」を掲載し、巻末では日本国憲法をはじめ、関連する法令集が掲載されている。</p> <p>○新聞記事による読み取りや「どうやって投票するの？」等ではイラストや写真資料を活用して一連の流れが分かりやすく構成されている。</p>
表記・表現	<p>○本文は敬体で、重要語句は太字である。本文中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようにしている。</p> <p>○重要語句について白抜き数字を示し、関連資料と関連づけている。</p>
総括	<p>紙面はA B版である。考え方や技能を応用することのできる特設ページとして「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」、学習内容の理解を助けるコラムやコーナーとして「公民プラスα」や「アクティビティ」「タイムトラベル」「日本が世界に提供できる価値」を設けている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、「連携コーナー」を設け地理・歴史だけでなく小学校との関連も示している。また、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育について見開きで「裁判員裁判シミュレーション」するページを設け、自分の考えをまとめさせようとしている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名	
	新しい公民教科書 (自由社)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○現代社会について、歴史的な分野と関連付けながら諸資料を活用して学習するようにしている。立憲的民主主義に関する考え方やしくみについても、歴史的な背景を踏まえ理解を図るようにしている。</p> <p>○現在日本が抱える課題や社会的情勢を取り入れ、資料や写真を交えながら、多面的多角的な視野で捉え、思考力・判断力等を育成しようとしている。</p> <p>○社会科学学習のまとめとして、終章「持続可能な社会を目指して」において、「レポートと卒業論文をつくらう」の学習活動とおして、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようにしている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きページごとに「ここがポイント!」を設け、要点をまとめている。</p> <p>○各章の終末の「学習のまとめと発展」では、各章ごとの最重要語句として厳選して示し、基本的な知識の定着を図るようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各章の終末に「学習のまとめと発展」の中で、「学習の発展」として課題を文章表現するようにしており、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされている。</p> <p>○「もっと知りたい」では、それぞれのテーマについて異なる考え方を分けて示して多面的・多角的な考察ができるように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「ミニ知識」による補充的な資料や、「もっと知りたい」では興味・関心に応じて学習内容を深め、主体的な学習に取り組むように工夫している。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○歴史的な分野な背景を踏まえ、適宜人物を紹介しながら、立憲的民主主義に関する考え方やしくみを深く理解させようとしている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○我が国の国民主権への過程を身近な事柄や歴史と関連付けながら学習し、基礎的教養を培うように構成されている。</p>
	資料	<p>○巻頭に「すごいぞ日本の技術は」で世界に誇る日本の先端技術が紹介されている。巻末には、法令集の掲載、わが国の領域が示され、北方領土、竹島、尖閣諸島、沖ノ鳥島についての説明をしている。</p> <p>○提示する写真は大きく見やすい。グラフは目的に応じて折れ線・帯・円などとそれぞれ使い分け読み取りやすくなっている。</p>
	表記・表現	<p>○文体は敬体で平易である。</p> <p>○各章の見出しは白抜きで表記され見やすい。また見出しの下に学習課題が提示され、重要語句は太文字で示させている。また重要語句によっては、脚注で補足説明がなされている。</p>
総括	<p>紙面はB版である。現代社会について、歴史的な分野と関連付けながら諸資料を活用して学習させるようにしている。各章末の「学習のまとめと発展」で、最重要語句を掲載し基礎的・基本的な知識・理解とあわせ、表現力等の充実を図っている。また、「ミニ知識」や「もっと知りたい」で学習の補充・深化を図っている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育について見開きでコラム「裁判員制度」を設け、制度の趣旨としくみを解説している。</p>	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (公民的分野) 】

項目	書名
	新しいみんなの公民 (育鵬社)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	<p>○現代社会について、本文と様々な資料を活用しながら基礎的・基本的な知識・技能を習得させようとしている。</p> <p>○現代社会の理想と現実を、写真資料や新聞記事等を活用し多面的多角的に捉えさせ、思考力・判断力等を育成しようとしている。</p> <p>○社会科学習のまとめとして、終章に『私は内閣総理大臣「持続可能な社会」を築いていくための国づくり構想を立てよう』を設け、地理や歴史と関連付けながらレポート作成の学習をとおして、よりよい社会の形成に主体的に参加する態度を培うようしている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開き2ページで構成されており、その学習課題に対して、右ページ欄外に「学習のまとめ」を設け、学習内容が理解できたか確認できるようにしている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」で重要語句の確認、図中に語句を書き入れるワークシート等により、知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「やってみよう」では、家族へのインタビュー、新聞の社説の比較、裁判員になって判決を考えようなど具体的に示し、思考力・判断力・表現力の育成を図ろうとしている。</p> <p>○見開き2ページの右ページ欄外「学習のまとめ」は、調べ学習や文章説明等を行うようにも工夫されており、繰り返し思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各章の学習に興味・関心をもって取り組めるように「入り口」を設けるとともに、「理解を深めよう」を設け、本文と関連する内容について考えを深め、主体的に学習に取り組むよう工夫されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○それぞれの学習内容ごとに、人物キャラクターによる疑問提示等の投げかけがあり、それにより、民主主義に対する理解を深めるようにされている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「つかむ・調べる・まとめる」の学習過程に沿って、物事の因果関係を丁寧に述べた本文と図版や写真資料を活用し、生徒に公民としての幅広い知識と教養を身に付けさせようとしている。</p>
色	<p>資料</p> <p>○巻頭「私たちを取り巻く課題」「世界で活躍する日本人」を掲載するとともに、他人事を自分として捉える資料として「自分の過去・現在・未来シート」を設けている。巻末「持続可能な社会をめざして」を掲載するとともに、日本国憲法をはじめ、関連する法令集、学習に役立つウェブサイトが紹介されている。</p> <p>○写真は最近起きた出来事や説明文あり、新聞記事による読み取りと効果的な活用を図るように構成されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○本文は常体で、重要語句は太字である。側注に語句の解説がされている。本文中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようになっている。</p>
総括	<p>紙面はA B版である。巻頭に「なぜ『公民』を学ぶのか?」が掲載されている。そのきっかけとして「人生のモノサシ」で、自分の将来設計について考えさせるようにしている。また、各章の始まりには「入り口」を言語活動のできるページを設け、主体的に学習に取り組むようにしている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、小学校の学習指導要領に盛り込まれた法教育についてコラム「裁判員制度について考える」を設け、グループで考えをまとめようとしている。</p>